



## ご入学・ご進級 おめでとうございます！

令和5年度がスタートしました。本年度も安心・安全でおいしい給食をめざし、防災食育センター職員一同心を込めて作ります。どうぞよろしくお願いいたします。

## 喜界町の給食を紹介します

喜界町防災食育センターは、通常は小学校2校・中学校1校・幼稚園2園の給食を作り、災害時は避難所となり炊きだし等を行う施設として、平成29年に完成しました。

本年度は約700名分を調理員13名と配送員2名で提供しています。

毎日の給食は町ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

(『喜界町 学校給食』で検索)

### 1月・学校給食週間中の給食

麦ごはん・牛乳・春雨シムン・ヒルイッチャーシー・ねったぼ



牛乳は毎日つきます。カルシウムの要求量が大い小中学生にとって、重要な食品のひとつです。都城の県酪から火曜日と木曜日の朝、船で届きます。中学生の牛乳は6月から10月の期間、250ccになります。

主食は1週間の内、ごはん4回、パン1回です。

パンは学校給食用に作られたもので、冷凍で届きます。

米は県産「あきほなみ」や「なつほのか」。毎回麦を約1割混ぜて炊きます。麦ごはんになると、不足しがちな食物せんいを多くとることができるので、ご家庭でもぜひどうぞ。

おかずは、学校給食の栄養摂取基準を満たしたバランスの良い献立になるよう努力しています。センターには大きな釜が六つと、フライヤー、オーブン、冷却機などが整備されています。それらを組み合わせて、限られた時間の中で衛生面に配慮しながら給食を作っています。

喜界島の食べ物も、できるだけ使うようにしています。

## 食物アレルギー対応について

食物アレルギーのために食べられない食品がある人へは、医師の診断の基に、対象食品を使わない給食を出します。学校を通じてセンターへお知らせください。

## 学校給食の役割とは？

学校給食はただお腹を満たすだけの食事ではありません。栄養補給という目的はもちろん、食に関する正しい知識と、望ましい食習慣を身につけるための「生きた教材」としての役割を担っています。



### 学校給食の目標

学校給食法（平成27年6月改正）

- 1 適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図ること。
- 2 日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を培い、及び望ましい食習慣を養うこと。
- 3 学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養うこと。
- 4 食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであることについての理解を深め、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- 5 食生活が食にかかわる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深め、勤労を重んずる態度を養うこと。
- 6 我が国や各地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深めること。
- 7 食料の生産、流通及び消費について、正しい理解に導くこと。



「食」を通して、子どもたちに知ってもらいたいことがあります。それは・・・

- ・ 自分の体は自分が食べたものでできあがるということ
- ・ 食べることは簡単ではないということ

食べ物はみな命です。人は、「食べ物」となる命を育て、命をいただき、自分の命をつなぎます。

食べることを大切にしないのは、自分の命を大切にしていないのと同じです。自分が食べるものを自分で買う「練習」を、子どものうちから始めませんか？

命を大切に子どもに育つよう、家庭と給食が協力して食育をすすめていきましょう。

